

8. 本時の学習 (3/3)

4年3組 指導者 表良子

(1) 目標

◎モデル文を参考にしながら新聞の特徴を押さえたり、「使いたい表現」を活用したりして、新聞記事を書くことができる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	☆手だて ○指導の留意点 ◆評価【方法】
導入	1. 前時までの学習を振り返り、本時の見通しをもつ。	○モデル文を参考にし、共通教材の初めの部分を書いたことを思い出させ、終わりまで書くことを知らせる。
展開	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「使いたい表現」を使って、新聞らしい記事を書こう！</div> 2. モデル文を参考にしながら「中」「終わり」を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・「中」の前半までは、共通のメモを見ながら文章を組み立てて発表し、全員一緒に新聞記事をワークシートに書く。 ・「中」の後半から終わりまでは、共通のメモを見ながら、各自、新聞記事をワークシートに書く。 3. 書いた記事を友達と読み合い、推敲する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の特徴をつかんだ表現になっているか確かめる。 4. 発表して交流する。	☆モデル文を参考に書けるよう、提示する。 ☆新聞の特徴や「使いたい表現」を活用できるよう提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・1文が短い。 ・「常体」で書かれている。 ・主語が省略されている。 ・体言止めが用いられている。 ・「 」の後の表現が多様である。 ・終わりに当たるところでは、今後のことや印象に残ったことなどを書いている。 ○400字程度書ける罫線の用紙を用意する。 ○文と文のつながりや新聞の特徴をつかんだ表現になっているかについて、机間指導したり、発表させて全体で考えさせたりする。 ◆文章構成を考え、新聞の特徴や「使いたい表現」を押さえながら記事を書いている。【ワークシート】 ○文と文のつながりや新聞の特徴をつかんだ表現になっているかについて、考えるよう声をかける。 ◆交流し合って、文と文とのつながりや文章表現などを推敲している。【ワークシート】 ☆表現するために必要な語句を増やしたり新聞の書き方を定着させたりするために、発表させる。
まとめ	5. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○次回、個別教材で、谷原小のよさを伝える新聞を取材したり、調べたりして作り始めることを知らせる。